

井の頭恩賜公園花便り

イイギリ ヤナギ科



第二公園入口

山地に生え高さ15-20mになり、太い枝を車軸状に広げます。昔はこの葉で飯を包み、葉が桐に似ていることから、「飯桐/イイギリ」となったと言われています。秋に赤橙色の果実が葡萄状においしそうに実ります。ヒヨドリは直ぐ食べず、落葉する頃に群れで訪れ、一気に食べつくします。

ハナミズキ ミズキ科



三角広場

1912年に東京市長(当時)がワシントンに桜を贈り、その返礼に贈られた木として知られています。4-5月頃に小さな花が咲き、10-11月頃に果実は1.2cmの光沢のある深紅色に熟し、シジュウカラ・ヒヨドリなどの野鳥が食べます。種子は2個あり、長さ1cmの紡錘形で淡褐色です。



*『花便り』に関するご質問等は井の頭恩賜公園案内所TEL0422(47)6900までご連絡ください。